

令和2年度 学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年11月実施分]

※生徒11月26日または12月3日、教員と保護者12月中に実施。

※ここに示す%は肯定率を表す。

【学習指導】

- ・生徒は授業について81%（1年81%、2年88%、3年75%）（昨年84%）が「難しい」と回答し、昨年とほぼ横ばい、「授業の教え方を工夫している教員がいる」という評価は93%（1年88%、2年95%、3年96%）（昨年93%）で昨年と横ばいであった。今後は、ICTの活用も含めた授業改善への取組みを続けたい。
- ・保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいと知っている」の評価は、66%（66%）で昨年と同じであった。今後も教え方の工夫と進度・内容の検討の継続が必要である。
- ・本校のキャリアガイダンス（将来の進路や生き方について考える機会）については生徒の90%（1年90%、2年92%、3年87%）（昨年90%）、保護者の90%（昨年91%）、教員の84%（昨年82%）が適切であると評価している。総合学科として、総合的な探究の時間も活用し、生徒への働きかけを強化したい。
- ・選択科目について、3年生徒の68%（昨年74%）、保護者の86%（昨年86%）、教員の79%（昨年82%）が「生徒の興味関心に応じている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。

【生徒指導】

- ・学校生活に対する意識については生徒の76%（1年77%、2年78%、3年73%）（昨年75%）が「行くのが楽しい」と回答し、また保護者の81%（昨年83%）が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と、どちらもほぼ横ばいであった。今後もより安全で安心な学校づくりの取組みを強化していきたい。
- ・保護者は本校の生徒指導に86%（昨年85%）が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」では、92%（1年93%、2年92%、3年92%）（昨年93%）。真面目な生徒が多く、来年度も持続していきたい。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の88%（1年93%、2年85%、3年87%）（昨年87%）、保護者の89%（昨年86%）が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばい。「いじめへの対応」については、生徒の81%（1年82%、2年84%、3年78%）（昨年78%）、保護者の82%（昨年83%）が肯定的にとらえている。新型コロナウイルス感染症に関わる偏見や差別つながる行為、いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後めざしていきたい。

【学校運営】

- ・3年生は83%（昨年92%）が総合学科を選んでよかったと評価し、74%（昨年77%）が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、65%（昨年72%）が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、両者ともに昨年度を下回った。総合学科の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。

- ・文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は67%（昨年86%）が活発であると評価し、生徒は文化祭に70%（1年86%、2年69%、3年54%）（昨年78%）、体育祭は中止になったがその準備に42%（1年54%、2年35%、3年37%）（昨年77%）が肯定的に答えており、コロナ禍での規模縮小や中止で例年より下降した。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていききたい。（参考）行事後すぐに実施した生徒会アンケートでは、文化祭83%（昨年92%）、体育祭は実施せず（昨年91%）が満足と答えた。）・教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は43%（1年39%、2年36%、3年53%）（昨年46%）と、毎年低い数値になっている。これは主に担任が面談等を繰り返し行い、親身になって相談にのっている結果とも考えられる。相談（教育、キャリア、健康）体制について、今年度も生徒支援委員会の教員が交替で常駐したが、来室生徒数は少なかった。
- ・教員の「PTA活動へ参加している」が51%（昨年57%）であった。次年度も校内でできるPTA活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。
- ・教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については52%（昨年48%）であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ（電子・紙媒体）を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。
- ・教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については42%（昨年48%）であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度も秋に「魅力ある授業」をテーマに研究協議形式の研修会をしたところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要があると考える。

【情報提供】

- ・「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は86%（1年84%、2年90%、3年83%）（昨年86%）の肯定率である。ただし保護者は81%（昨年83%）の肯定率で、今後更なる情報提供の充実に向けて取組みが必要である。

【環境】

- ・「学校の施設・設備に満足している」については、生徒62%（1年70%、2年51%、3年64%）（昨年63%）、保護者70%（昨年71%）、教員43%（昨年39%）であった。